



# 高水地協ニュース

〒383-0025 中野市三好町 1-1-19 Tel.0269-23-0505 Fax.0269-38-0575

連 合 長 野  
高水地域協議会

○ 発行責任者 小林 君男  
○ 編集責任者 岩本 淳一

## <号外>

### 長野県議会議員選挙

## 告示前行動の最大イベント、各地で両候補予定者の『必勝総決起集会』が開催された。

4月3日(金)告示・12日投開票の日程で施行される長野県議会議員選挙は、間もなく選挙戦の幕が上がります。両候補予定者は連日支持者宅回りを行い、投票行動への協力をお願いしているところですが、他陣営の強力な追い込みの実態を鑑みれば、とても楽観できる状況になく、地協としても多くの構成単組の組合員の支援・協力を仰がなければ『必勝体制』に持ち込むことができません。皆さんお一人おひとりの力を借りて、再び兩名の議席が確保できますよう、是非とも積極的な支援行動をお願い致します。今号では、両候補予定者を励ます総決起集会の様子と期日前投票の要領について記載します。

### 須坂市・上高井郡選挙区

## 永井一雄の必勝を期す総決起集会

3月28日(土)午後2時より、須坂駅前シルキービル3階ホールにおいて支持者約150名が集まるなか、永井一雄県議の県政報告会とともに4期目の必勝を目指す『永井一雄総決起集会』が開催されました。

集会は、若林一の会(後援会)会長の支持者拡大のお願いから始まり、中澤事務長の情勢報告・今後の取り組みへの協力や各地区の選対責任者からの決意表明、引き続いて篠原衆議院議員を筆頭にそれぞれの立場から激励挨拶を頂戴しました。地協からは二ノ宮副議長(農団労須高労組)が挨拶に立ち、「組織の総力を

あげて最後まで取り組んでいく」旨を表明しました。

そして永井一雄県議が登壇し、県政の課題と改革断行の必要性とともに、「市民の目線に立った議会活動は変わることはない。合理性・効率性優先の社会において犠牲となる個人の尊厳や自治を守っていくことが議員の役割。弱い者の社会活動に優しい県政の実現などを目指していくため、再び議会に送っていただきたい。残り期間は後僅か。皆さんの協力をいただくなかで、悔いのない選挙活動を展開したい」と熱い思いで訴え、県議選に臨むための決意を表明されました。

### <決起集会の様子>



会場へ集まった参加者約150名



県政報告と選挙決意を述べる永井県議



地協を代表して挨拶する二ノ宮副議長



激励挨拶に駆けつけた篠原代議士



永井氏の必勝を期して団結ガンバロウ



地元議員を代表して挨拶する宮坂市議



## 中野市・下高井郡選挙区

# 小林東一郎を励ます総決起集会

永井一雄県議の総決起集会に引き続いて、同日午後3時より、中野市中央公民館3階講堂において、こちらも支持者約150名が集まるなか、小林東一郎県議の県政報告会とともに3期目の必勝を目指す『小林東一郎を励ます総決起集会』が開催されました。

集会は、涌井事務長の司会で開会され、小林後援会長の支持者拡大のお願い、事務長の情勢報告・今後の取り組みへの協力や各地区の選対責任者からの決意表明、引き続いて篠原衆議院議員を筆頭にそれぞれの立場から激励挨拶を頂戴しました。地協からは本間議長代行（しなの富士通労組）が挨拶に立ち、「組織の総力をあげて最後まで取り組んでいく」旨を表明しました。

そして壇上に立った小林東一郎県議からは、県政の課題と改革断行の必要性とともに「2期8年間、経済成長至上主義や市場原理主義による大都市へのヒト・モノ・カネの一極集中を改め、地域経済の立て直しをはかり、医療・福祉・教育など暮らしに密着する分野に税を有効活用していく必要がある。常にこのことを念頭として地域住民一人ひとりを大切にする県政の実現を目指していく。寄り添う政治、参加できる政治のために「7つの政策（①地域経済⇒経済の地域内循環をはかる。②農林業⇒水資源の涵養をはかり、生物多様性の維持に努める。中山間地荒廃をもたらず TPPには反対。③エネルギー⇒太陽光・小水力・バイオマス・地熱温水熱を活用した発電を推進し、脱原発社会をめざす。エネルギー自給率向上による地域経済の好循環もたらずよう地域主導かつ県民参加の開発支援を行う。④雇用⇒若い人たちの安定雇用と安心して産・育できる環境整備に努める。正規雇用率向上の支援と再チャレンジできる仕組みづくりを行い、格差の解消をはかる。⑤医療・福祉⇒住み慣れた暮らしの継続の



連日、中野市内で辻説法に立つ小林県議

ため、適切な医療が受けられる体制づくりや介護予防サービスの充実とともに、介護保険制度や障がい者・生活困窮者に対する充実した支援制度について提言する。子供の貧困解消に取り組む。⑥教育⇒子供たちがそれぞれ目標を持って学び合うために、自然・歴史・暮らしを肌で感じ自ら考えられる教育の推進をはかる。公民としての意識を育て、グローバルな感覚を磨いていく教育を目指す。非正規教員比率を減らし、特別支援教育も手厚くするよう提言する。⑦議会改革⇒政策論争の場という議会本来の役割を発揮するため、議会基本条例を具現化し、公聴会や参考人質疑を活用して県民意見の議論反映に努める。一人区や飛び地の解消により、議員定数を見直すとともに、議員活動の一層の透明化をはかる）」を信条として議員活動に邁進していくため、再び議会に送っていただきたい。残り期間は後僅か。皆さんの協力をいただくなかで、悔いのない選挙活動を展開したい」と熱い思いで訴え、県議選に臨むための決意を表明されました。

## <決起集会の様子>



会場へ集まった参加者約150名



県政報告と選挙決意を述べる小林県議



地協を代表して挨拶する本間議長代行



地域後援会と各団体の代表者



激励挨拶に駆けつけた篠原代議士



小林県議の熱弁に耳を傾ける参加者

長野県議会議員一般選挙

投票日  
あさ7:00~  
よる8:00  
(一部地域を除く)

4月12日

描こう 明日の長野県

投票日当日都合の悪い方は  
期日前投票ができます  
4月4日土 4月11日土

※詳しくは市町村選挙管理委員会へお尋ねください。

投票は、政治家（または新人立候補者）に対する「市民の評価・審判を仰ぐ」という一面があります。しかし、近年の選挙結果は「投票率が極めて悪い状況だ」という現実を皆で考えていかななくてはなりません。

「自分一人くらい投票してもしなくても、何も変わらない」と思っただけです。投票権は私たち国民に与えられた権利であり、あなたの大切な権利なのです。

『投票しなければならない』という義務ではなく、政治に参加することができる権利、私たちの声を政治に反映させる唯一の武器だから、その一票が『政治を変える』『地域を変える』『日本を変える』という“力”を持っているのです。とは言え、テレビの開票速報などで何千・何万票という単位の数字を目にすると、確かに『たかが一票』と思ってしまうかも知れません。しかし、ここは良く考えてみて下さい。結果が何千票・何万票とは言え、最初は誰かの“たった1票”から始まっているはず。千里の道も一歩からと、まずは私たち一人ひとりの一票で、労働者・生活者の声が届く政治に変えましょう。あなたの権利を活かして下さい！あなたの声を政治に届けて下さい！

選挙に行かないとどうなるか……。ある政治家が、「関心がない」と、そのまま寝ていけばいいが…」などと、低投票率を期待するような発言をしたことが話題になりました。政治家というのは、当然のことながら自分を支持し投票してくれる層を重視します。「選挙に若者はこない」というデータがあれば、当然政治家は選挙にくる層の人々を優先し、そういった人々に向けた政策を訴えるようになります。したがって、「投票に行かない人は、政治に対する文句を言う権利がない」と言わなければならないのです。例えば、「税金が

上がり生活が苦しくなった」「会社が残業代を払ってくれない」「子供を保育園に預けたくても預けられない」等々があっても、これらはみんな、「もしかしたら、投票に行かなかった人々が選択した結果なのかも知れない」という見方にもなりかねません。

与党（政権側）に投票することは「現在の政治を承認すること」の意思表示になり、野党に投票することは「現在の政治を承認しないこと」の意思表示になりますが、それに対して棄権することは「今後も、政治家が何をやろうとお任せします」という意思表示になり、選挙に行かなかったり、白票を投じるのは全く無駄な行為です。普段から「全く政治が機能していない」「政治不信だ」などとボヤいたところで、自らが政治を監視する信念と、「ダメな政治家は交替させる」という行動を起こさなければ、何も変わりません。過激な行動は犯罪行為ですが、「投票することが自分の意思表示ができる唯一の手段である」ことを私たち一人ひとりがしっかりと意識し、労働者・生活者目線の政治の流れに変えていきましょう。大勢の同じ意思を持つ人が投票行動すれば、政治の流れは確実に変わります。

『忙しくて投票に行く暇がない』という皆さん、期日前投票（きじつぜんとうひょう）はご存知ですか。選挙の投票日は、選挙期間最終日の日曜日になることがほとんどですが、期日前投票は公示（告示）の翌日から投票日前日まで投票できます。以前は、投票できる時間帯が日中のみに限られていたり、それ相応の理由がないとできませんでしたが、最近は投票できる時間帯も拡大され、旅行やレジャーなども理由として認められるようになりました。自分の都合のいい時に投票できる『期日前投票』を是非ご活用下さい。

## 期日前投票について

選挙は、選挙期日（投票日）に投票所において投票することを原則としていますが（これを投票当日投票所投票主義といいます）、期日前投票制度は、選挙期日前であっても選挙期日と同じ方法で投票を行うことができる（つまり、投票用紙を直接投票箱に入れることができる）仕組みです。

### 対象となる投票

選挙人名簿登録地の市区町村で行う投票が対象

### 投票対象者

選挙期日に仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭等の用務があるなど一定の事由に該当すると見込まれる者です。投票の際には、宣誓書に列挙されている一定の事由の中から自分が該当するものを選択

### 投票期間

選挙期日の公示日または告示日の翌日から選挙期日の前日までの間

### 投票場所

各市区町村に1カ所以上設けられる期日前投票所

### 投票時間

午前8時30分から午後8時まで



## 投票手続

期日前投票は、選挙期日の投票所における投票と同じく確定投票となるため、基本的な手続は選挙期日の投票所における投票と同じ

## 選挙権認定の時期

選挙権の有無は、期日前投票を行う日に認定され、これにより選挙期日前であっても、投票用紙を直接投

票箱に入れることが可能。

したがって、期日前投票を行った後に、他市区町村への移転、死亡等の事由が発生して、選挙権を失ったとしても有効な投票として取り扱われる



※期日前投票所が複数設けられる場合、それぞれの期日前投票所の間で投票期間や投票時間が異なることがあります。

## <市町村別の期日前投票所>

### 須坂市・上高井選挙区

＊ 須 坂 市	市役所本庁舎 3 階 305 号室	期日：4月4日～4月11日 時間：午前8時30分～午後8時	持物は投票所入場券
＊ 小布施町	役場敷地内の「北斎ホール」	期日：4月4日～4月11日 時間：午前8時30分～午後8時	持物は投票所入場券
＊ 高 山 村	役場庁舎 1 階	期日：4月4日～4月11日 時間：午前8時30分～午後8時	持物は投票所入場券

### 中野市・下高井選挙区

＊ 中 野 市	市役所本庁舎 1 階	期日：4月4日～4月11日 時間：午前8時30分～午後8時	持物は投票所入場券
	豊田支所 1 階	期日：4月9日～4月11日※ 時間：午前8時30分～午後7時※	持物は投票所入場券
	北部公民館 1 階	期日：4月9日～4月11日※ 時間：午前8時30分～午後7時※	持物は投票所入場券
	西部公民館 1 階	期日：4月9日～4月11日※ 時間：午前8時30分～午後7時※	持物は投票所入場券
＊ 山ノ内町	役場庁舎 1 階	期日：4月4日～4月11日 時間：午前8時30分～午後8時	持物は投票所入場券
	ほなみふれあいセンター	期日：4月7日※ 時間：午前9時～正午※	持物は投票所入場券
	北部公民館	期日：4月7日※ 時間：午後2時～午後5時※	持物は投票所入場券
	よませふれあいセンター	期日：4月8日※ 時間：午前9時～正午	持物は投票所入場券
	中須賀川公民館	期日：4月8日※ 時間：午後2時～午後5時※	持物は投票所入場券
＊ 木島平村	役場庁舎ロビー	期日：4月4日～4月11日 時間：午前8時30分～午後8時	持物は投票所入場券
＊ 野沢温泉村	役場庁舎 3 階	期日：4月4日～4月11日 時間：午前8時30分～午後8時	持物は投票所入場券

は本庁舎以外の期日前投票所ですので、※印の「期日」「時間」を良くご確認のうえご来場ください。

以上

**私たち地協構成単組は、小林・永井両候補予定者の必勝を期して支援活動を行っています。**

**自治労**（県職労北信支部、須坂市職員労組、中野市職員労組、飯山市職員労組、山ノ内町職員労組、木島平村職員労組、野沢温泉村職員労組、栄村職員労組、長野広域連合労組小布施荘支部、長野広域連合労組須坂荘支部、北信広域連合職員労組、須坂市社協職員労組、中野市社協職員労組、山ノ内町社協職員労組、県立病院機構労組須坂病院支部）、**電機連合**（鈴木労組、日通工エレクトロニクス労組、ニットー労組、帝通労組須坂支部、しなの富士通労組、新光電気労組高丘支部、富士電機パワーセミコンダクタ労組飯山支部）、**農団労**（須高労組、中野市労組、ＪＡ志賀高原労組、北信州みゆき労組）、**長野電鉄労組**、**明治産業労組**、**全コシナ関連労組**、**ＪＰ労組北信支部**、**林野労組北信分会**、**電力総連**（中部電力労組飯山支部、トーエネック労組中野支部）、**全労金**（県労金労組中野支部・須坂支部）